

「教職に関する資質能力」の自己評価結果—2024 年度—

(5. とてもあてはまる/4. ある程度あてはまる/3. どちらともいえない/2. あまりそう思わない/1. まったくそう思わない)

カテゴリ	項目	指標	2 年次	3 年次	4 年次
学校教育 についての 理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	4.5	3.6	5.0
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	4.5	3.0	4.3
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	4.5	3.4	4.7
子どもに ついての 理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	4.5	3.4	4.7
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	4.5	3.6	4.7
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	4.5	3.6	4.7
他者との 協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	5.0	3.6	5.0
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	4.5	3.6	4.7
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	4.5	3.6	5.0
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	5.0	3.8	5.0
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つれたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	4.5	3.8	4.7
コミュニ ケーショ ン	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	4.0	3.2	4.7
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	4.0	3.8	5.0
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	4.5	4.0	4.7
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	4.5	3.2	4.7

カテゴリ	項目	指標	2 年次	3 年次	4 年次
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	数学科	これまで履修した数学科教育分野の科目の内容について理解していますか。	4.5	3.2	4.7
	教科書・学習指導要領	教科書や中学校学習指導要領（数学編）の内容を理解していますか。	4.0	2.6	4.3
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	4.5	3.2	4.7
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	3.5	3.6	4.3
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	4.5	3.6	4.3
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	3.5	3.2	4.7
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	4.0	3	4.7
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。	4.0	3.4	4.7
	授業構想力	教材研究を生かした数学科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	4.0	3.4	4.7
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	4.0	3.4	4.7
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	4.0	3.4	4.7
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	4.0	3.2	4.3
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	3.0	3.4	3.0
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	4.5	3.2	5.0
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。	4.5	3.8	5.0